学校番号	305

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新 論理国語」　（三省堂）						
副教材等	「グランステップ現代文 1.5」　尚文出版 「大学入試の核心漢字と語彙 3750」　尚文出版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「論理国語」という授業の最大の目的は、皆さんの論述する力や批判的な読解力を育むことです。将来進学や就職をする時に、様々な文書や図表を読み込み、内容を消化したうえで、論拠を示して主張や反論を行うことが求められます。さらに、Society5.0 と呼ばれる情報社会の中で、多くの仕事が人工知能や機械に置き換えられる時代が目の前に広がっています。そうした新しい時代を前に、「言葉」を学ぶことを通じて、考える力を養ってほしい。そう考えています。

・語彙や漢字など、国語の力を身につけてください。
・たくさんの文章を読んでください。
・さまざまな人と「対話」をしてください。
・発表や提出物の期限は必ず守ってください。
・学んだことを必ず振り返る習慣を身につけてください。

２　学習の到達目標

「論理国語」では以下の課題を目標にします。

【知識及び技能】
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現すること。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成を理解すること。

【思考力、判断力、表現力等】
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うこと。
・情報を読み取り、論理的な思考力を身につけ、場面に応じて活用すること。
・討論やレポートなど言語活動を通じて、情報機器を活用し、「集団的な知」を構成すること。

【学びに向かう力、人間性等】
・高校における学習の先に、大学での学びがあることを理解すること。
・自分の興味関心を問い直し、専門分野や専攻を選択する力を養うこと。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	批評するために ［教材］ 「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」 「言語ゲームと哲学的感度」	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[読む]:・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	情報を関連づけ自分の解釈を形成するために ［教材］ 「学びとは何か」 「『知る』ということ」	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[読む・書く]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。			
	解釈を広げたり深めたりするために ［教材］ 「科学には限界があるか」 「リスク社会論」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[読む・書く]：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	具体と抽象の関係を理解するために ［教材］ 「人類による環境への影響」 「この十年をどう生きるか」	a：情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[読む]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	書き手の思考過程を検証する ［教材］ 「卒業論文を書く」	a：・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　書く　]：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている c：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う	定期考査 小テスト	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート 振り返りシート

		とともに、自らの学習を調整しようとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間